

最終更新日： 2026年3月2日

授業科目名 (講義題目)	産業と技術			開講学期	前期
				曜日時限	木曜 I 限
				単位数	2
担当教員名	安田 聡子	講義コード	科目区分	対象学生	
		26176009	選択	1年生 / 2年生	
開講予定日	①4/9 ②4/16 ③4/23 ④5/7 ⑤5/14 ⑥5/21 ⑦5/28 ⑧6/4 ⑨6/11 ⑩6/18 ⑪6/25 ⑫7/2 ⑬7/9 ⑭7/16 ⑮7/23				
履修条件	特に定めない。	キーワード	第4次産業革命、イノベーション、スタートアップ		
全体の教育目標	イノベーションについて学び、スタートアップが第4次産業革命で果たす役割について議論する。	個別の学習目標	各回の講義で学ぶ理論やコンセプトを使って、現代的事象を論理的に説明できるようにする。		

授業の概要	<p>第2次産業革命の時代、日本企業は活発なイノベーションによって成長し”Japan as No.1.”と賞賛された。だが1990年代以降は「失われた30年」という長い停滞を経験している。現在進行中の第4次産業革命で日本企業が再びイノベーションを活性化できるのかは、①「新しい汎用技術と矛盾のない制度」、②「新技術の発展・普及に有用な人的資本」、③「スタートアップが活発化するエコシステム」を準備できるかどうかにかかっていると見えるだろう。</p> <p>本講義では①～③のテーマに関する水準の高い文献を精読し、教員が説明を加えたうえでクラス全体で討議を行うことで、受講生それぞれが置かれた環境の中で「第4次産業がどのような形で進行しており、組織の競争力や人間のwell-beingを高めているのか」を分かりやすい形でプレゼンテーションし、論理的に記述できるようになることを目指す。</p>				
授業の最新情報 案内方法	・九州大学Moodle				
授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習 ・ディスカッション ・プレゼンテーション 	使用する教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料（電子媒体） ・テキスト（紙媒体） 		
授業の進め方	対面での講義およびリーディング・アサインメントに基づくプレゼンテーションを行う。毎回、講義の際にグループを作成し、グループ単位で指定されたテーマに関するプレゼンテーションを作成し、報告してフィードバックを得る。				

<p>教科書及び 参考図書</p>	<p>◎受講前に受講者が入手する必要がある資料</p> <p>1. 清水洋（著）『イノベーションの考え方』、日本経済出版（日経文庫）、2023年、900円.</p> <p>○受講開始後に必要となる可能性がある資料</p> <p>2. 加藤雅俊（著）『スタートアップの経済学』、有斐閣、2022年、2600円.</p> <p>●知識を拡げるために読んだ方がよい資料</p> <p>3. 後藤晃（著）『イノベーション：活性化のための方策』、東洋経済新報社、2016年、2600円</p> <p>4. 永田晃也（編著）『イノベーション・エコシステムの誕生: 日本における発見と政策課題』、中央経済社、2022年.</p> <p>5. 鈴木 他（編）『変貌する日本のイノベーション・システム』、有斐閣、2020年、4200円.</p> <p>6. 清水洋（著）『野生化するイノベーション：日本経済「失われた20年」を超える』、新潮選書、2019年、1300円.</p> <p>7. 一橋大学イノベーション研究センター（編）『新装版 イノベーション・マネジメント入門 第3版』、日本経済新聞出版、2022年、3600円.</p> <p>8. 安田武彦（編著）『中小企業論[改訂版]：ライフサイクルの視点で考える』、同友館、2026年、3300円.</p>
<p>試験・成績 評価の方法等</p>	<p>毎回の授業の準備状況、クラスへの貢献度（グループワークへの参加、ディスカッションでの発言、フィードバックの頻度と内容）、プレゼンテーションおよびレポートの完成度をもとに総合的に評価する。</p>